

舞鶴出張所による京都北部地域の活性化に向けた取組 ～旧軍用財産視察会及び地域産業支援施策活用セミナーの開催～

- 舞鶴市の地域活性化に資するべく、未利用の旧軍用財産のうち観光資源としての活用が見込まれるものについて、地元有識者を招聘し視察会を実施。(旧軍港市日本遺産WEEKで一般初公開)
- 京丹後市の中小企業経営者に向けて、国の地域産業支援施策の活用セミナーを開催。

概要① 旧軍用財産視察会

H29.10.17～18 観光資源となりうる旧軍用財産の視察会
(舞鶴市、京都府や国の出先機関、商工会議所の幹部を招聘)

1. 東山特設防空指揮所 (地下壕)

- 昭和16年から地下壕の建設開始
- 大きさはテニスコート2面分、高さは最大18m
(戦時中は2階建て軍事施設)



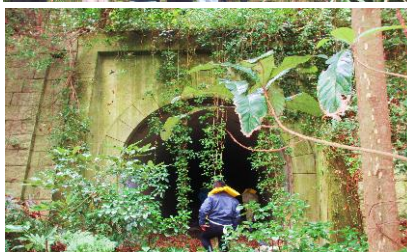
2. 旧海軍第三火薬廠 覆土式火薬庫

- 昭和15年に建設された火薬庫
- 「覆土式」という方式で建築
戦時中のものが現存するのは非常に珍しい。(口ケ地としても活用)



3. 戸島・蛇島

- 戦時中は大砲発射場や、医療所、ガソリン庫として活用された
- 現在は上陸禁止の無人島となっているが、歴史的遺構が残存



概要② 地域産業支援施策活用セミナー

H29.12.19 中小企業経営者のための国の地域産業
支援施策の活用セミナー (京丹後市)

- 当局が経産局と労働局に呼びかけ、セミナーと共に意見交換会を開催。
- 京丹後市長、地元経済団体、金融機関を交え、地域経済の活性化について議論。



取組の成果

- 舞鶴出張所の所属職員を中心に、準備・設営を行った結果両イベントともに多数の来訪者を迎え、好評を博した。

● 旧軍用財産視察会 ⇒ 計58名の参加 (※)

● 国の地域産業支援施策の活用セミナー ⇒ 計100名超の参加

※ H29.10.28には東山特設防空指揮所を旧軍港市日本遺産WEEKにおいて一般市民向けにも公開(来訪者多数)。